

A light gray world map is centered in the background of the slide.

東京都市大学 海外インターンシップ



東京都市大学の紹介

◆ 学校法人五島育英会

(東急グループの礎を築いた五島慶太を初代理事長として設立した学校法人)
東京都市大学、付属学校(高校3、中学校2、小学校1、幼稚園1)

◆ 東京都市大学(旧 武蔵工業大学)

1929年に「学びたい」という学生の情熱によって創立された90年を超える歴史を持つ大学。
東急グループに属する。

◆ 学生数:約7,500人

◆ キャンパス:

世田谷キャンパス(理工学部・建築都市デザイン学部・情報工学部・大学院総合理工学研究科)

横浜キャンパス(環境学部・メディア情報学部・大学院環境情報学研究科)

等々力キャンパス(都市生活学部・人間科学部・大学院環境情報学研究科)

◆ 建学の精神:「公正・自由・自治」



東京都市大学の海外インターンシップ

東京都市大学の海外インターンシップ

- 対象学年：全学年
- 夏休み、春休みを利用した1か月程度がメイン
- 業者が間に入らない大学が直接派遣するインターンシップ
派遣先は海外インターンシップ専門委員会教職員が**独自に開拓**
費用は**必要経費のみ**（業者へ支払う手数料等が不要）
- 大学から必要経費の一部をサポートする**奨学金を支給**
「夢に翼を奨学金」 渡航費・現地宿泊費・海外旅行保険料の半額程度

派遣前～帰国後教育(大学の支援)

- 事前教育：海外生活の基本や派遣先の業務に関する教育
- 派遣中のサポート：派遣先ごとに学生と担当教職員のグループLINEを作成
学生は日報を作成し、週1回大学からフィードバック
- 帰国後教育：振り返り面談、報告会実施



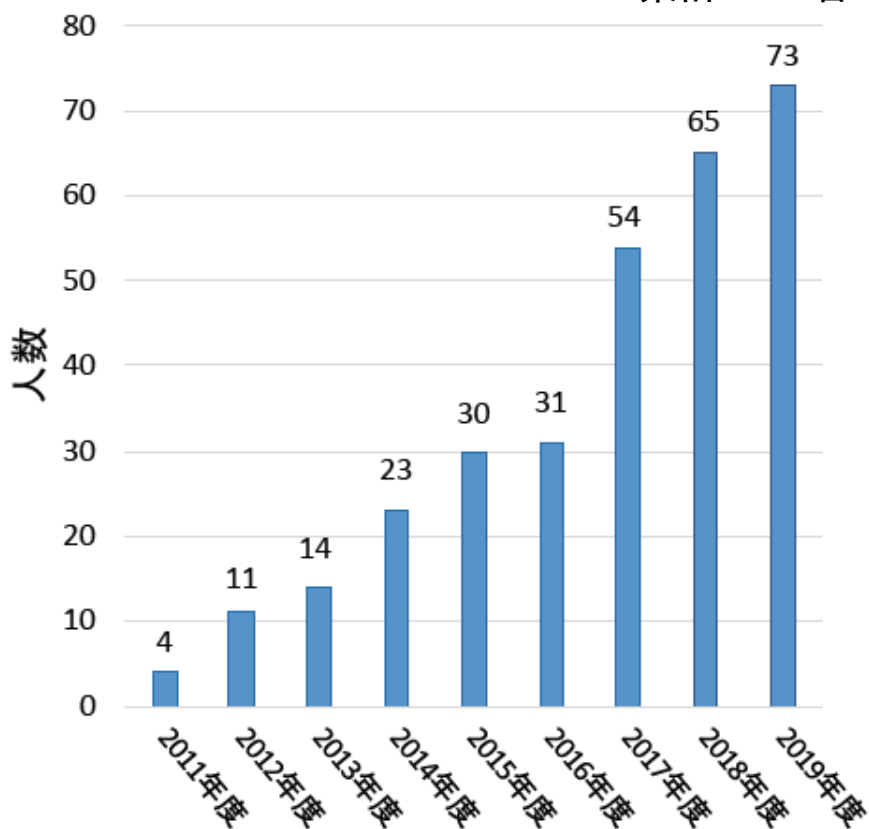
海外インターンシップによる成長

- 逆境を乗り越える力
 - 海外での慣れない生活や仕事をやり遂げる経験を通して自分に自信が持てる
- 学びに対するモチベーションアップ
 - 海外の職場に入り込んだ実務経験を通して自分の力を認識する
 - 伸ばしたい力に気づき、大学での学びに対するモチベーションが向上する
- グローバル人材への一步
 - 多様なバックグラウンドの人達とのコミュニケーションを体験できる
 - 日本を客観的に見る力がつき、日本への理解が深まる
 - 英語力が高まる

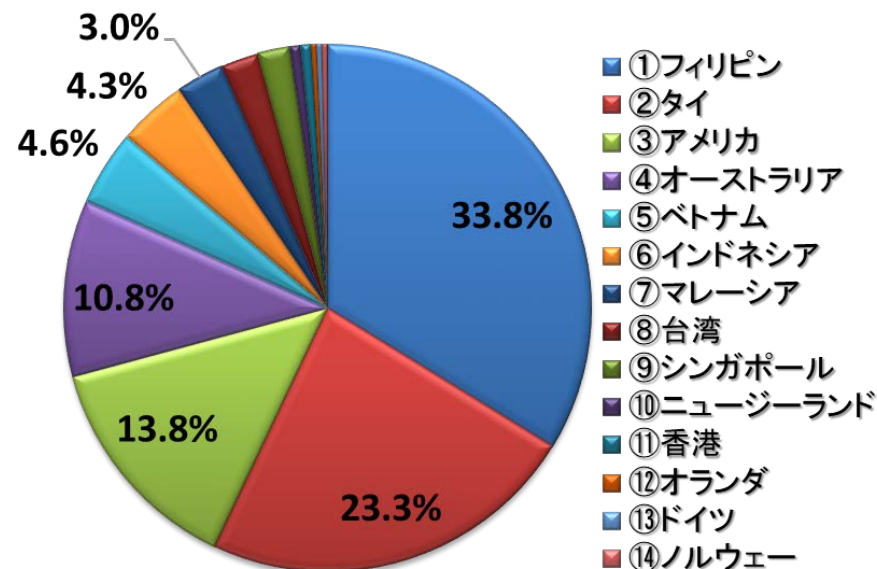


派遣者の推移・国別派遣者

派遣者の推移 累計:305名



国別派遣者



業務区分



累計派遣先数:41か所、2019年度派遣先数:26か所



海外インターンシップ派遣プロセス

開拓

募集要
項公開

応募
受付

書類
選考

面接
選考

派遣者
決定

旅程
VISA



← 学生決定プロセス →

派遣準備

事前
研修

日報
確認

LINE
グループ

現地
報告会

帰国
報告会

全学
報告会

OB会
活動

派遣準備

← 派遣中 →

← 帰国後 →



開拓～学生決定プロセス

開拓・受入先候補訪問

- ◆ 卒業生や東急グループ、教職員の人脈で開拓
- ◆ 派遣先の約70%がOBからの紹介
- ◆ 受入先候補を担当教職員が現地訪問し、業務概要および生活環境を把握、
宿舎（会社施設/ホテル等）、受入人数、通勤手段の確認、
各種費用の負担等を取り決める

学生募集・選抜

- ◆ 学内で説明会を開催
- ◆ 書類選考⇒個別面接選考
- ◆ 教職員が派遣先の特徴やテーマ、必要スキル、
学生の専攻や興味を見極め、
マッチングを行い、派遣学生を決定する



↑募集ガイダンスの様子



派遣準備

事前準備のサポート

- ◆ 航空券・宿泊施設・現地通勤手段の提示
- ◆ 必要なビザの取得方法の教示、保険への加入指示

事前教育

- ◆ 海外生活の留意事項(危機管理等)
- ◆ 派遣先業務の基礎知識
例)生産管理の方法(受注～部材調達～生産～発送)
- ◆ メールの書き方やビジネスマナー等
- ◆ 大学で契約しているオンライン英会話の提供
(学生は無料で使用可)



↑学生用マニュアル



派遣中

派遣期間中のサポート

- ◆ 派遣開始時に、必要ならば教職員が同行し、業務の立上りを指導
- ◆ 派遣期間中は、全学生に日報を作成、週1回提出させ、
学生は、企業ならびに大学担当者から毎週フィードバックを得ながら、
自身の取組を振り返る。
- ◆ 派遣先ごとに学生と担当教職員のグループLINEを作成し、常時学生をサポート
- ◆ 可能であれば、派遣期間中に担当教職員が現地訪問し学生へアドバイス、
最終日の現地報告会出席



プログラム内容

- ◆ 具体的なプログラム内容は、派遣先の要望や特徴、学生の専攻に基づき、協議し設定するため、派遣先ごとに異なる
- ◆ 基本的な設計: 就業体験＋課題設定 最終日に派遣先に対し英語で成果発表、帰国後に大学で報告会

タイプ	概要
工場(組立系)	・生産ラインの分析と改善提案 ・工場の仕組みの勉強 (生産管理他)
工場(素材、プロセス系)	・品質データの分析 ・歩留まり向上のための計測 ・新製品開発とその評価
オフィス業務	・経営管理データの分析 ・日米特許制度の資料作り ・顧客情報、HPのアクセス分析 ・日常業務の支援
プロジェクト参画、 研究開発 他	・都市開発プロジェクトでのマーケティング ・小中学生との国際交流、行政活動の国際比較 ・大学・研究機関等での研究開発 ・建設現場等でのフィールドワーク



帰国後

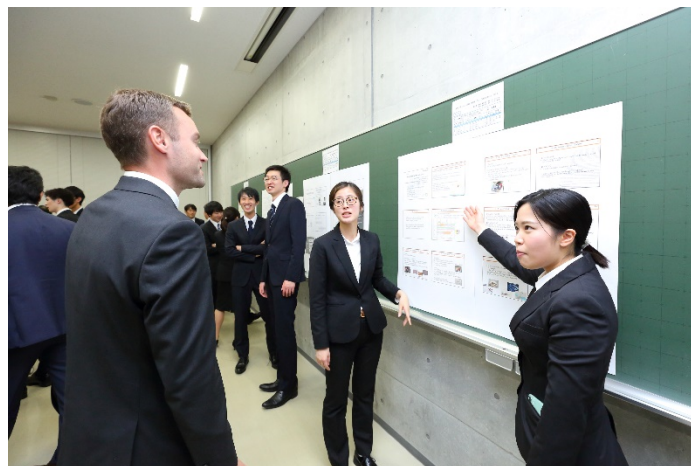
帰国後報告会

- ◆ 帰国報告会（海外インターンシップ専門委員会向け学内報告会）
- ◆ 全学報告会（派遣先企業の方を含む学外の方も招いた報告会）
⇒派遣学生自身の振り返りの機会＋後輩学生への機会紹介の場ともなっている

全学報告会（口頭発表）の様子



全学報告会（ポスター発表）の様子



結びに

受け入れ企業からの声

- ◆ 作業工数がかかり取り組みたくても取り組めなかった現場のデータ収集や分析を担って貰え、業務改善活動の助けとなった。
- ◆ 現地スタッフが、昼食時や退勤後の触れ合いを通じ、日本人をよく知る機会となった。
- ◆ 工場作業者が日本人学生の真面目な仕事振りに良い印象を持った。

受け入れ企業の皆様からも、学生を受け入れて良かったと仰っていただき、ありがたい限りです。大学を卒業して社会人になっても、現地の方と連絡を取り合っている参加学生もいます。

今回の受賞を機に、今後もより多くの学生が成長する機会を提供できるよう、更なる努力をしていく所存でございます。

今後ともご支援のほど、何卒よろしくお願い致します。

